



「ワーケーションの教科書」

創造性と生産性を最大化する『新しい働き方』

長田 英和

(2021/7)

1,650円

Airbnb japan 執行役員が国内外の先進的な事例から導入までのワーケーションを紹介しています。

【感想】

本日ご紹介するのは、民泊を中心とした宿泊施設を貸し出す Airbnb Japan の執行役員が、ワーケーションを実施することで、想像性や生産性を引き出すメソッドについて書かれている本です。

ワーケーションとは Work(仕事)と Vacation(休暇)を組み合わせた言葉です。

今後テクノロジーや AI が人間の労働力を上回ると言われている時代の中で、私達が今後求められるのは創造性ではないでしょうか。

創造力を引き出す仕掛けとして、休暇と仕事を混在させた時間を意識的に作り出すことができるワーケーションを推奨しています。

テレワークは業種的に出来ずに、あまり関係がないと思われる方も、非日常の場所をターゲットとしたワーケーションであれば、ライフライン整備や観光地の発展の観点から読み進めていくと 新しい市場の開拓のヒントとなる一冊なのではないでしょうか。

【以下引用】

・ワーケーションとは「休暇と仕事を混在させた時間を意識的に作り出す」ことで、想像力＝クリエイティビティを引き出す一種の「仕掛け」なのです。そして、絶え間なく変わる市場環境の中で、新しい価値を生み出し続けるためには、この仕掛けをどう活用していくかがとても大事になるのです。

ワーケーションを取り組む自治体の事例

佐賀県嬉野温泉

和多屋別荘では、温泉旅館でワーケーションを行う新しい試みを開始。

余剰客室をオフィス化し、また館内全体で Wi-Fi が繋がることで様々な場所で仕事が出来ます。サテライトオフィスも構え、専用コンシェルジュサービスの特典がついた「温泉ワーケーション」月額会員プランの申し込みも開始。

→休暇によるリフレッシュを大事にする自然型ワーケーション

神奈川県東部エリア(鎌倉・逗子・横須賀)

建長寺で行われている「寺ワーク in 鎌倉」です。利用者が Wi-Fi 完備の境内で庭園を眺めながら仕事をしたり、座禅の指導を受けられたりと、非日常体験できる。

→街の文化に触れることでセレンディピティを産み出す都市型ワーケーション

ワーケーションが広がると、ワーケーションで事業を実施する側と、仕事の作業を行う側の2つの視点で市場を捉え、事業を展開していくことができるのではないのでしょうか。